



2026年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月10日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2217 URL <https://www.morozoff.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山口 信二
問合せ先責任者 （役職名）取締役 経営統括本部長 （氏名）磯野 健治 TEL 078-822-5000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年1月期第1四半期の連結業績（2025年2月1日～2025年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年1月期第1四半期	8,998	△3.3	421	△42.1	431	△41.0	264	△47.2
2025年1月期第1四半期	9,310	6.3	728	10.3	732	10.4	500	15.4

（注）包括利益 2026年1月期第1四半期 186百万円（△68.8％） 2025年1月期第1四半期 596百万円（18.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第1四半期	13.06	—
2025年1月期第1四半期	24.10	—

（注）2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、2025年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年1月期第1四半期	26,548	19,352	72.9
2025年1月期	25,591	19,483	76.1

（参考）自己資本 2026年1月期第1四半期 19,352百万円 2025年1月期 19,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	35.00	—	47.00	82.00
2026年1月期	—	—	—	—	—
2026年1月期（予想）	—	6.00	—	8.00	14.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年1月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。2026年1月期（予想）については、当該株式分割後の配当額を記載しております。

3. 2026年1月期の連結業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	16,300	△1.0	330	△54.6	360	△51.9	140	△71.2	6.93
通期	36,050	0.1	1,020	△50.5	1,070	△49.0	570	△59.7	28.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期1Q	21,265,356株	2025年1月期	21,265,356株
② 期末自己株式数	2026年1月期1Q	1,054,719株	2025年1月期	1,054,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年1月期1Q	20,210,679株	2025年1月期1Q	20,751,942株

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、2025年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(収益認識関係)	8
3. 補足情報	8
販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費には持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、米国の関税政策等の影響による景気後退への懸念や、食料品の価格高騰の影響から個人消費の下振れリスクも高まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下において、当社グループは企業スローガンである『こころつながり。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供することに注力しました。

売上面につきましては、クッキーなどの焼菓子は概ね堅調に推移したものの、バレンタイン商戦が前倒し傾向となったことや、物価上昇の影響による洋生菓子の買い控え、香港の子会社の春節での売上が当第1四半期連結累計期間に計上されないこともあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,998百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

損益面につきましては、店舗や工場の人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の価格改定に取り組んだものの、減収に加え、カカオを中心とした原材料価格の想定以上の上昇、賃金の引上げによる人件費の増加、輸送費用の上昇や昨年移転した船橋物流センターの外部委託費用計上などにより、営業利益は421百万円（前年同期比42.1%減）、経常利益は431百万円（前年同期比41.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は264百万円（前年同期比47.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、素材と製法にこだわった新体験カスタードスイーツ専門店「CUSTA」を2024年10月に銀座三越へ、2025年4月に日本橋三越本店へオープンしたことによる売上貢献に加え、「ファヤージュ」や「ガレットオブル」などの焼菓子が好調に推移したものの、土産やテーマパーク向けの商品を中心に売上が減少したことや、前倒し傾向となったバレンタイン商戦の影響、香港の子会社での春節の売上が前期の計上となったこともあり、前年同期を下回る売上高となりました。

洋生菓子につきましても、昨年に発売55周年の記念商品を販売したチーズケーキの反動減や、物価上昇に伴うチルドデザートへの買い控えにより、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は8,510百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、メニューの価格や内容の改変等により売上拡大を図った結果、売上高は488百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末に比べ957百万円増加し、26,548百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額5,086百万円、有形固定資産の増加額1,272百万円、仕掛品の増加額484百万円、受取手形及び売掛金の減少額4,811百万円、商品及び製品の減少額1,541百万円等であります。負債は前連結会計年度末に比べ1,087百万円増加し、7,195百万円となりました。これは主にその他流動負債の増加額760百万円、支払手形及び買掛金の増加額272百万円、賞与引当金の増加額237百万円、電子記録債務の減少額157百万円等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ130百万円減少し、19,352百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少額59百万円、利益剰余金の減少額52百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月14日に発表いたしました2026年1月期の連結業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,594,650	9,681,017
受取手形及び売掛金	6,892,429	2,081,229
有価証券	499,250	499,450
商品及び製品	2,372,148	830,565
仕掛品	336,922	821,271
原材料及び貯蔵品	486,545	713,185
その他	112,629	184,922
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	15,293,576	14,810,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,988,869	1,959,209
土地	3,644,738	3,644,738
その他（純額）	1,470,777	2,772,796
有形固定資産合計	7,104,385	8,376,744
無形固定資産		
その他	219,522	220,976
無形固定資産合計	219,522	220,976
投資その他の資産		
投資有価証券	1,274,819	1,198,067
退職給付に係る資産	764,711	988,935
その他	936,499	955,542
貸倒引当金	△2,500	△2,500
投資その他の資産合計	2,973,529	3,140,045
固定資産合計	10,297,437	11,737,767
資産合計	25,591,013	26,548,408
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	955,273	1,227,440
電子記録債務	529,098	371,190
短期借入金	1,510,000	1,510,000
未払法人税等	214,794	201,795
賞与引当金	218,570	455,700
その他	1,984,531	2,744,872
流動負債合計	5,412,268	6,511,000
固定負債		
退職給付に係る負債	80,093	80,674
その他	615,403	604,038
固定負債合計	695,497	684,713
負債合計	6,107,765	7,195,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,924,810	3,924,810
利益剰余金	12,641,274	12,588,658
自己株式	△1,364,417	△1,364,559
株主資本合計	18,939,136	18,886,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	461,392	402,293
土地再評価差額金	290,138	284,238
為替換算調整勘定	107,985	77,222
退職給付に係る調整累計額	△315,404	△297,437
その他の包括利益累計額合計	544,112	466,316
純資産合計	19,483,248	19,352,694
負債純資産合計	25,591,013	26,548,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
売上高	9,310,573	8,998,915
売上原価	4,403,460	4,469,566
売上総利益	4,907,113	4,529,349
販売費及び一般管理費	4,178,465	4,107,612
営業利益	728,647	421,737
営業外収益		
受取配当金	1,755	2,015
売電収入	2,210	2,550
その他	6,046	15,944
営業外収益合計	10,011	20,509
営業外費用		
支払利息	5,658	5,936
その他	889	4,488
営業外費用合計	6,547	10,425
経常利益	732,111	431,821
特別損失		
固定資産除売却損	1,226	2,060
特別損失合計	1,226	2,060
税金等調整前四半期純利益	730,885	429,761
法人税等	230,830	165,743
四半期純利益	500,054	264,018
親会社株主に帰属する四半期純利益	500,054	264,018

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
四半期純利益	500,054	264,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,374	△59,098
土地再評価差額金	—	△5,900
為替換算調整勘定	24,885	△30,762
退職給付に係る調整額	16,065	17,966
その他の包括利益合計	96,324	△77,795
四半期包括利益	596,378	186,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,378	186,223
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	180,061千円	153,568千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	洋菓子製造 販売事業	喫茶・レスト ラン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,834,440	476,132	9,310,573	—	9,310,573
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,834,440	476,132	9,310,573	—	9,310,573
セグメント利益	1,055,406	8,200	1,063,607	△334,959	728,647

(注) 1. セグメント利益の調整額△334,959千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	洋菓子製造 販売事業	喫茶・レスト ラン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,510,425	488,490	8,998,915	—	8,998,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,510,425	488,490	8,998,915	—	8,998,915
セグメント利益	759,769	7,885	767,655	△345,918	421,737

(注) 1. セグメント利益の調整額△345,918千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

報告セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
洋菓子製造販売事業計	8,834,440	8,510,425
(内訳)		
干菓子群	6,743,729	6,458,566
洋生菓子群	1,981,631	1,935,240
その他菓子群	109,080	116,618
喫茶・レストラン事業計	476,132	488,490
顧客との契約から生じる収益	9,310,573	8,998,915
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	9,310,573	8,998,915

3. 補足情報

販売実績

当第1四半期連結累計期間のセグメント別商品群別販売実績は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (収益認識関係)」に記載のとおりであります。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (クッキー) ファヤージュ、アルカディア、オデット、ガレット オ ブール等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。 (詰合せ) ハッピーパーティ等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ等。 (半生菓子) マドレーヌ、フィナンシェ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。